

Holo ecchi live



Shorts

成年
コミック

はう
あ金払って
チンポ擦りに来た

ショカ
ウイ

どうしようもない

マゾ豚

きょう
教育

を
してやり
ます

M性感風俗

バイビラム

主人公（あなた） / し〇れういの大ファン

性別：男 | 性格：マゾ

推しに会えるという噂を聞いてマゾライブという風俗店に来た...

営業中

19:00~19:45

21:00~21:45

SHOW
TIME

料金システム

30分コース...8000円

60分コース...15000円

90分コース...22000円

※オプションは別途メニューを
ご確認ください

マゾ♥ラブ / M性感風俗

基本料金：8000円～22000円 オプションあり

マゾオス向けの風俗で、褒めてくれる女王様系の女の子が在籍しているお店だ。1Fではお酒の提供やダンスショーなどを行い2Fでは機と個室でお楽しみ出来るシステムだ！

この「マゾ♥ラブ」という風俗店へ来た...

俺はし〇れうい推しの一般人だ。とある情報を聞きつけて

「すみません...ぴゅん〇ちばを見て来たんですけど...」

「いちっしゅいませ、それでは料金システムなどご説明させていただきます。」

黒崎 / 受付

性別：男 | 性格：不明

風俗店マゾライブの受付をしている。
スーツを着用していて清潔感がある。

説明をしたら、

指名出来る嬢の

写真が貼られたファイルが開かれる……

「6分コースですね、」

「指名はどちらなさいますか？」

「お……おは……ういちゃん！」

「お……おは……おは……」

「お……おは……ういちゃんを指名したいんですが……」

「それではお立ち上がりお待ち下さい。別途オラシオン

は女の子と直接決める事になってますのでよろしくお願いします。」

おがや

うい

人気
No.1

みお

まいん

1F バー・ショールーム / M 性感風俗

お酒の提供 & H なショーのお部屋。

「あーい、
ご指名ありがとうございます、
ういでくす
おまたせしちゃって、
すいませんねえ。」

（ういちゃん！すごい格好だ！）

風俗で働いてるって本当だったんだ！

「？」

「あの…僕…実はゴミなんですけど…」

しおれうい / 風俗嬢・絵師・Vtuber

性別：女 | 性格：ノーマル、ややS寄り

素晴らしい絵や歌を生み出す才能をもつ女性。この店で
ではドSの女王様になってマソオス共に『接客』する

※1 ゴミ…とはファン
ネームの事だよ！



はあ

「きっしょく……こんなトコまでチンポ擦られに来たの？」
「うちのリスナー変態しかおらんのだが？」

「おち……コノカで見ると……やいば……ワル勃起した……」

んやい

「オプシヨンの希望はありますか？」

「あ……じゃあチン踏みと前立腺責めの……」

「W向けコースのオプシヨンを願います。」

くみん

くい
くい

「あーいわかりました。ドラゴンくんなんですわー。いっしょに……」

(やべ…勃起しすぎて歩きにくい…)

「部屋行く前からパンパンに勃起してるんですけど(笑)

テスト張ってんの誰も気にしてないんで早くしてくださーい」

んんん

んんん♡♡♡

「は…はい！」

2F 個室前入口 / M 性感風俗

癒とお楽しみするためのお部屋が並んでいる。

「ここから先、マズ豚のあなたには着衣は認め
らませんのでおの。服は脱いで行っ
てくださーい」

「じゃあまずば、

チン踏みから行きますよ、お、マズ豚」

「お願いしますっ！」

2F 個室 / M 性感風俗

お楽しみ部屋。シャワー等も一通りある

「やあはあ……トチの女の尻見の好みを……眺めながら最高……くくく……」

「踏まわりたいなんてきんもー。なんで踏まわりたいのマジ豚君は？」

「ムチムチの太もも！チラチラ見えるパンティ……最高だ……」
「お……金玉蹴っちゃ……ダメです……あーっ！」

ムチムチ
チンチン



「ぶるるん……うわ……ヌルヌルしたの垂れ流してるよ……
筋金入りの変態だなあ……何？しごいて欲しいの？」

じわあ♡

チクッ

ぐい

（いっしょに絶頂を味わおう……ハハハ……）

うにまきにチンポをしゃぶっちゃおうかー！

「お願いしますッ！」

「頼み方がなってないねえマゾ豚君。」

そんなんでしごい

てもうええと思うてる？女王様舐めてんの？」

（うお…金玉ぐりぐりしちゃだめ…さ…逆うえないんだま）

「この卑しい豚めのチンポをうい様の

足蹴にしてく…くたせいませえええ！」

ぐりぐり

ヌル

「よし、立場分かってんね。じゃあ仕方ないからじつじつや」

ふん

ズズ♡♡

お♡♡

お♡♡

「あーっ！様の足で擦られて…射精っ…射精っ…射精っ…！」

「おい…早すぎだろ豚、どんだけ溜まってるんだ？」

「でもダメー。 あゝんイケそうだったわね♡でもご主人様

の許可がないと射精しちゃいけないんだよ？」

「許可あゝく…くう…くださるにー」

ひたっ…

「ほら、 テーブルにチンポ乗せる豚！」

「は…はい！」

「豚はそんな声で返事しませうん」

「ズヒィ！」

